



松山 篤夫 議員

飛驒牛をパリで、 ニューヨークで！

人口対策について

問 「すきな場所」を「すてきな場所」にかえるためにはあるべき人口を明確にし、市民と共有する中で政策を進めていく必要があるが、市の考えは。

答 どのくらいの人口が望ましいのか、どのような取り組みをすべきか見出し、地域住民と一緒に考えていく。取り組んでいきたい。

観光と海外戦略

こころ

問 飛驒牛の世界市場への販路拡大の展望に対する市の考えは。

答 県、関係機関や事業者と連携して、イギリス、フランスなどで商流を確立させ、EU加盟国において飛驒牛の

本格的な輸出につなげていきたい。アメリカも販売対象として視野に入れており、輸出に向けて関係機関への働きかけを行っていきたい。



問 果物、野菜等の高山ブランドとしての海外市場への参入計画は。

答 桃、米など販路拡大に向けて、積極的に取り組んでいく。

問 「木のおもちゃ」の評価が海外で高くなっている。新しい輸出商品になるのでは。

答 重要な高山ブランドになるものと考えている。販路開拓に取り組んでいきたい。

問 クール・ジャパン支援事業を輸出力強化のために有効利用すべきであると考えるが、市の見解は。

答 制度が活用され、輸出力が高まるように事業者への周知を図る。

問 北陸新幹線開業の影響は。

答 4月の高山〜金沢間の高速バスの乗客人数は前年対比41・9%増と大幅な増加になっている。JR高山線も増加していると聞いており、誘客効果はあると考えている。

問 口ーカル線・高山線の魅力を観光資源としてもっと活用しては。

答 車窓からの風景は高い評価をいただいております。観光資源としての可能性は高いと考えている。運行事業者に提案していきたい。

問 市の文化・歴史遺産を「日本遺産」として認定申請する考えは。

答 絶好の機会と考え、認定に向けて申請をしていきたい。



谷澤 政司 議員

議員は全市民の意見の把握を!!

観光イベントのあり方

問 各地域で開催しているイベントを全市的に調整連携する取り組みが必要ではないか。

答 全市的に調整を行い、その効果が見込めるよう検討して行く。

問 市民や観光客の更なる参加を促すため、周知方法に検討を。

答 様々な情報媒体への提供に努める。

今後の観光イベント

問 来年は市制80周年。春にからくり屋台曳き揃えの開催を。

答 関係団体と検討して、観光的に意義あるイベントにしたい。

祭屋台を世界遺産登録

問 来年秋のユネスコ文化遺産登録に伴う記念

の大イベント開催を。

答 情報では遺産登録がされ、国内外に歴史文化が高まることから、関係団体の皆様と協議していきたい。

災害に強いまちづくり

へ更なる推進を

問 昨年夏の豪雨災害復旧工事の状況は。

答 基盤整備部所管の道路、河川、橋梁は99か所あり、14か所は完成、83か所は今年度末までに完成予定、清見町の流失した2橋は28年度末完成予定、県が施工する庄川町の一色川、寺河戸川については年内に完成する予定である。

農政部所管の農地、農業用施設、林業施設は136か所あり、13か所は完成、123か

所は今年度末までに完成予定である。石浦町、千鳥町の山林の土砂崩れは、県で治山事業を進めており、年度内に完了予定である。

問 宮川・連合橋、弥生橋の河川敷の復旧工事の完了時期は。

答 連合橋下の土砂の撤去を。

問 7月末の完了を目指し進めている。

答 堆積土砂の撤去は、県と調整を図り早期完了するように取り組む。

問 宮川・松本町の堤防道路が低く冠水の危険がある。早期に治水対策を。

答 河床掘削を中心に断面を広げる方法で整備工事を行う予定である。

問 北山西側の左京町、大新町4丁目急傾斜地崩壊対策工事を。

答 八幡宮社務所裏、北保育園付近まで県が整備を行うが、今年度は測量や地質調査を行う、と聞いている。

引き続き本事業の推進を県へ要望して行く。